

お北せ蔵さん トドキ



いともありがとうございます。
オリジナルニュースレターを読んでいただきありがとうございます。

角いつしょに保険を選びましょうオフィス鳥越
鳥 越 介 順

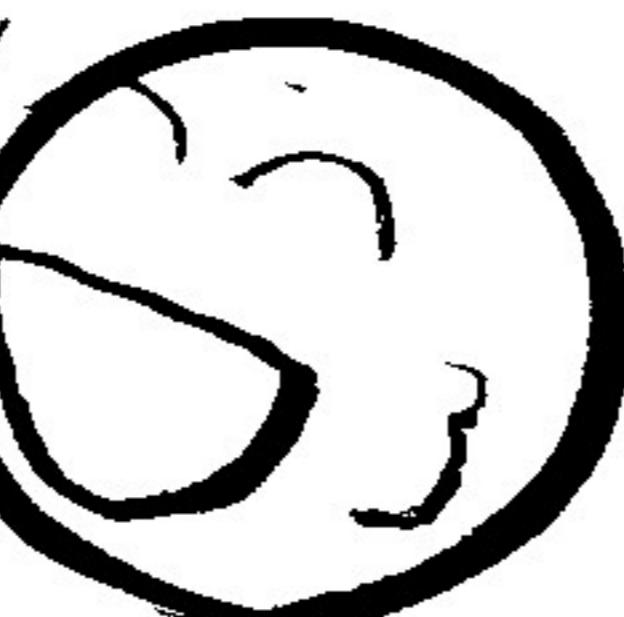
Vol.38
2006.11月

忙しいこの時代
人々の思考は
知らず知らずに
変えられている。
まさにこれが
Bestだと見て
いる

お笑い小話

- 昔読んだ推理小説を久しぶりに読み返すとき、自分の記憶力の無さに感謝する。
- 「ここに駐車したら殺す」とか「駐車厳禁、ケガ一生」とかシルキに書いてあるシャッターもどうかと思うが、その前にびっかり二重駐車してあるのを見ると「ああ、ここは大阪やな～」とじへんとなる。
- 免許の更新に行ったとき 視力検査で前に並んでいた若い女性が「コ」と答えていた。「左」と答えないき!
- 前を走り小さな軽トラックに「全長18m、死ぬ気で追い越せ!」というステッカーが貼ってあった。
- 「家庭の医学」は家にあると安心だが、読むと不安になる。
- 「キューリー夫人から連想するものは?」というアンケートで予想通り「キュアリ」という回答が第3位に入っていた。
- 息子の小1のときの文集に「好きなタレント」という欄があり、息子はそこに「タモリ」と書いていた。何のことか思ったら「タモリ」だった。

ハッハ
ハラ



ムダ無馬大ことを人生だよ

考えると全くムダなこともせず、効率よく人生を過ごし、老いを迎えてしまふと……こんなつまらないことは無いと思う。
しかし、私たちは毎日「今日もムダなく効率よく過ごしたい」と願っている。
思い切って思考を変えて「無駄なことごと人生を楽しくしている」と頭に印をつけておいて、あえてムダを樂しみ、ムダを作れるような人生にしたいと思う。
いっぱい立ち止まって効率の悪いこと、ムダ使い、ムダなもの集め、……
……どうもこれが人生の樂しさのようだ。

台所のお母さん

先日、妻に教えてもらった「台所に立っているお母さんは子どもたちが詰しかけやすいお母さんなのよ」と、とうとう子どもたちが「ねえねえお母さんあのー」とよくやって来る場面を思い出す。

同じように詰しかけやすいお父さんは、

「お父さんが茶の間で新聞を読んでいるとき」のようです。

私は家に帰ることも少ないが、家で夕食後に子どもたちがそれぞれ活動をはじめると、私もこれ幸いと我が家ミニオフィスで仕事を始めてしまう。

一件無駄のようであるが、茶の間に誰がいなくても、新聞を読んでいるお父さんが居ることで、子供たちにとっていつも詰しかけに行ける環境がつらわれるようである。

これはひとつとして職場でも同じことかも……

あなたは詰しかけやすい環境を作こまいか……